

TRAVEL IN YABUKI

THE THREE
GREATEST FRONTIER
OF JAPAN

日本三大開拓地「矢吹町」

矢吹町の今と昔を旅しよう。



 矢吹町



TRAVEL IN YABUKI

THE THREE
GREATEST FRONTIER
OF JAPAN

日本三大開拓地「矢吹町」

CONTENTS

Prologue
02 矢吹町の、今と昔を旅しよう。

The Three Greatest Frontier of Japan
日本三大開拓地「矢吹」

03 人智が切り開いた風景「矢吹」
～開拓史のプレリュード～

05 星吉右衛門が夢見た豊潤な大地

07 想いは繋がり、希望膨らむ土地へ

09 人智で切り開いた町の繋がり

Let's GO! Frontier Spirit
11 「羽鳥疏水」を巡る

YABUKI Guide Map
13 矢吹町ガイドマップ

Enjoy and Play! YABUKI
**たのしい発見がいっぱい!
矢吹町へ行こう!!**

15 家族で日帰り旅行

17 友達とキャンプでお泊り

Gourmet
19 矢吹町のおいしいグルメスポット

The Best Souvenir
21 厳選! 矢吹町みやげ

Message
22 これからの矢吹町

矢吹町の、 今と昔を旅しよう。

いつも車窓から見ていていた町、
ちょっと気になっていた。

広がる美しい田園、開拓された土地らしい。

休日にぶらりと出かけることにした。

「今」の私まで繋がってきた「昔」
そんな時代の交差に出会う小さな旅。

手頃な大きさの町は、私好みの一日を与えてくれた。

何だかうれしかった。

またぶらっと来ようと思う。

日常に埋もれた自分をそつと掘り起こしに、
飾り気のない普段着でいられる町に。



人智が切り開いた風景「矢吹」

開拓史のプレリユード

Agri Museum Project

03

歴史と一緒に楽しみたい“開拓グルメ”

【古宿の大根そば】

MAP-1

矢吹の蕎麦は、江戸時代の作者・十返舎一九によって発刊された『方言修行金草鞋』の一節で「行列の弓もひきぬ蕎麦切は、矢吹の宿に名物的」と一節が記されている宿場の名物だった。現在では、蕎麦に細長く切った生ダイコンを載せ、だし汁をかけた「大根そば」と共に、古民家風の店が宿場の雰囲気をかもしだしている。



data

福島県西白河郡矢吹町滝八幡183-2 ☎0248-42-2011 営業時間／11:30~15:00/17:00~20:00 定休日／不定休(電話にてお問い合わせ下さい)

【大木代吉本店】

慶応元年(1865)創業の造酒屋。戊辰戦争では矢吹宿も戦場となり、多くの家屋が焼失した。そんな中でも焼け残った蔵から酒を傷ついた兵士達に振舞ったと伝えられている。



data

福島県西白河郡矢吹町本町9 ☎0248-42-3161 営業時間／9:00~17:30 定休日／毎週火曜日

矢吹町について



【滝八幡と三十三観音磨崖仏群】

観音菩薩を中心とする37体の仏像群が彫刻されている隈戸川沿いの崖。江戸時代に書かれた『白河風土記』にはこの崖仏群の記載があり、町名の由来とされている建立の経緯が記されている。崖上に鎮座する滝八幡社の祠は、地名ゆかりの神社とされている。

しかし、矢吹の地名が用いられていたのは宿場町周辺で、その大半は荒地が続く平原だった。室町時代の將軍・足利義詮の書状には「行方野」という記述があり、その後も長らく、その呼び名で近代まで呼ばれていた。

明治中期になり、天皇の領地(御料地)の獵を楽しむ御獵場として、ようやく矢吹の名が地名として知られるようになる。行方野の中心にあつた矢吹村から現在の矢吹を含めた一帯が「矢吹ヶ原」と呼ばれ、全国でも数少ない宮内省管轄の「御獵場」として、明治から大正にかけての日本近代史にその名を刻んでいる。



荒野の中の矢吹町前史

現在の町名になっている「矢吹」の由来は、平安時代後期までさかのぼる。歴史の表舞台に武士が現れようとしていた時代、源氏の棟梁源義家が奥州の戦(前九年の役)に勝利し陣に帰る途中に、神社を建立。矢柄(胴体の竹の部分)で社の屋根を葺いたことが由来とされている。また戦国時代末期には、この地域を支配していた地域諸勢力のひとつ石川(中島)氏の城下町として、奥州街道の原型となる街道の宿場として町が整えられた。

江戸時代には、参勤交代などで整備された奥州街道と水戸街道などの追分(分岐点)として宿場町が発達、松尾芭蕉も「奥の細道」の旅の途中で矢吹に宿泊するなど人の往来も頻繁になる。また江戸末期の戊辰戦争では、奥羽越列藩度同盟の本陣が矢吹に設けられ、矢吹の主要寺院である大福寺が戦時病院の機能を果たした。



TRAVEL in YABUKI 2016

PROLOGUE

HISTORY

AGRICULTURE

FRONTIER SPIRIT

ENJOY

GOURMET

SOUVENIR

MESSAGE

04



【岩瀬御猟場】

矢吹に舶來の文化の薰を運んだ岩瀬御猟場

三千ヘクタールにもおよぶ野生動物の楽園だった矢吹ヶ原は、明治になると御料地となり棲息するキジや野ウサギを対象とした宮内省直営の獵場を開設する。岩瀬御猟場は、東京の植物御苑(現新宿御苑)にカモ猟、日光御料地にシカ猟の御猟場に次ぐ全国で三番目の御猟場で、大正14年に廃止されるまで当時に建てられた洋風建築の医院(現在は大正ロマン館)などの獵を楽しむ西洋の文化の空気を町にもたらした。

御猟場は皇室の狩猟場であり、一般市民の立ち入りは禁止され、皇族や高位高官だけが許されていた。当時、東北本線矢吹駅の東側一帯は御猟場で、その好立地から東郷平八郎などの名士も訪れている。矢吹駅には貴賓室が設けられていた。

御猟場の廃止後も、矢吹国営獵区として昭和16年までの面影は残され、現在では大池公園の入口にキジ供養のための雉子塚が残されるのみとなっている。

【看守たちの集合写真】

岩瀬御猟場には、三千羽のキジが棲息し、御猟場の看守たちは毎日見廻りを行い、棲息状況と密猟の取締りに当たった。看守たちの洗練された制服は町の人々の憧れだった。

【やぶきじくん】

町名と町の歴史の深く関わるキジをモデルにした矢吹のキャラクター。元気一杯でイベントに引っ張りだこ。元気すぎて暴走に注意。

【キジ料理】

矢吹では、結婚式などの晴れの日は、キジ肉が入っただしのき汁でソバを食べる「キジソバ」が出されたとい。そんなキジ肉を町の食堂では、キジ鍋、釜飯、刺身などが味わえる。

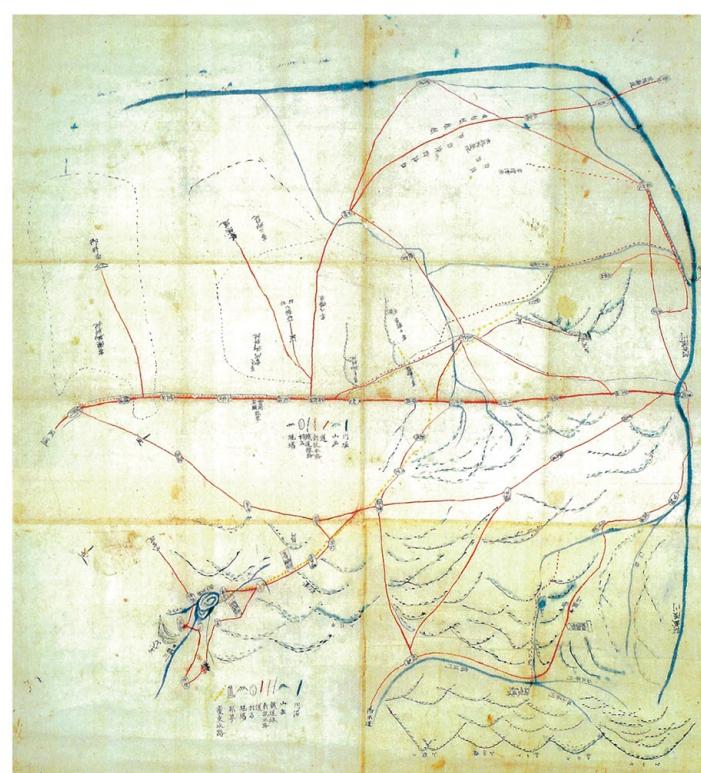


吉右衛門の作成した建白書は、明治十八年に県に申請されたが、県では賄えきれぬ膨大な予算や、会津側で鶴沼川を利用していた住民の反対により採用されなかつた。明治三十年には、水源を猪苗代湖に求める形で変更した建白書を再度申請するも、吉右衛門の計画は日の目を見るとはなかつた。また西水東流構想の実現の壁として、明治時代に入り矢吹ヶ原一帯が御料地として管理されたことも挙げられる。明治二十二年には、皇族をはじめ、政府高官、外国政

開拓魂は逆境で育まる

府の要人などが狩りを楽しむ御猟場が開設。一般の人々の立ち入りは禁じられた。御料地と御猟場の存在が、構想に大きく影響したことは間違いない。

その後吉右衛門は計画が進まない中でも、漆の栽培などの拓殖活動や学務委員など地域教育に力を入れ、明治四十一年に構想の実現を見ることなく、七十八歳の生涯を閉じる。しかし、吉右衛門亡き後も住民たちの粘り強い運動は続けられることになり、県や国を動かす原動力になっていく。



【建白書】

明治18年に提出された建白書の絵図面(矢吹町 星信家蔵)



【星吉右衛門】

矢吹ヶ原の土地改良に尽力した星吉右衛門



星吉右衛門が夢見た豊潤な大地

～開拓の先駆け「西水東流構想」～

美しい田園は戦後の風景

春には新緑の苗、秋には黄金色の稻穂が

連なる矢吹の田園。昔からあるような矢吹の風景は、昭和三十一年の羽鳥ダム竣工で劇的に進んだ土地改良事業の成果によつて出来た五十年程しか経過していないものなのだ。

明治時代まで行方野と呼ばれた矢吹ヶ原一帯は、隈戸川、泉川、阿武隈川流域に生活圏が発達した地域で、近代まで大半は野生動物が多く生息する手付かずの小松原だった。

その最大の要因は、慢性的な農業用水の不足にあつた。平坦な台地状の丘陵を川が侵食して流れているために、川底が低く取水が困難で、農地の開墾が思うように進まなかつたといわれている。宿場町としての発展の裏には、凶作や水不足が原因の争いがたびたび起つていた。

明治維新後、矢吹ヶ原には政府の方針で士族の入植が始まり、また時同じくして御料地(皇室の資産)に指定された地域では、宮内庁の開墾所が開設されて開墾が進められた。しかし、ここでも改善されない農業用水の問題で、計画は進まなかつた。



その実現に人生を費やすことになる。矢吹の西に隣接する天栄村の山村・羽鳥で堰止め、日本海に注ぐ鶴沼川の水を太平洋側の隈戸川に流し、矢吹ヶ原の農業用水として取水するものだつた。

そこで吉右衛門は大胆な構想を掲げ、本的な問題には至らなかつた。

明治維新後、矢吹ヶ原には政府の方針で士族の入植が始まり、また時同じくして御料地(皇室の資産)に指定された地域では、宮内庁の開墾所が開設されて開墾が進められた。しかし、ここでも改善されない農業用水の問題で、計画は進まなかつた。

吹ヶ原の西に隣接する天栄村の山村・羽鳥で堰止め、日本海に注ぐ鶴沼川の水を太平洋側の隈戸川に流し、矢吹ヶ原の農業用水として取水するものだつた。

「西水東流構想」実現のために吉右衛門は私財を投じて、実地調査や測量、県に計画内容を示す建白書を作成した。建白書の内容は、工事工程ごとにかかる人夫の数や経費、計画の絵地図など実行性が高い綿密なもので、吉右衛門の先見性が窺えるものだつた。



【万歳堰】

吉右衛門と農民が協力して造成した万歳堰は、現存しその役割を今でも果たしている。



【大池公園】

町内に点在するため池は、農業用水を少しでも確保しようとした名残り。町民の憩いの場「大池公園」もそんなため池「あゆり沼」を整備して作られたもの。

豊かな実りを夢見た矢吹の民

農民が苦しむ姿を幼少から目にしている

た男が立ち上がる。江戸末期に矢吹町大和内の庄屋の次男として生まれた星吉右衛門は、地域の農民と矢吹ヶ原の治水整備に尽力。明治の初めには、近隣の農民と

協力して取水堰(万歳堰)を造成し、地域念願の耕作地拡大の成果を上げたが、根

本的な問題には至らなかつた。

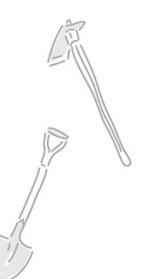


希望は繋がり、 希望膨らむ土地へ

（国営開墾事業の成果）

矢吹の夢は、

半世紀を経て実現



昭和に入り、計画は本格始動

吉右衛門の意志は受け継がれ、矢吹のみならず周辺地域の悲願として、運動は粘り強く続けられていく。

大正四年には、県南部の各地域の有志が共同で「矢吹ヶ原開田に関する申請書」を県知事に提出。実地調査が行われ、ほぼ吉右衛門の立案した計画に近いものが知事の答申としてあったが実現には至らず、その後も開墾事業と水利計画の要望が高まり、住民の県や国への陳情が繰り返された。

転機は昭和の時代に入り訪れる。計画に影響を及ぼしていた御料地（2346ヘクタール）が昭和九年に県へ移管され、昭和十五年には帝国議会で開墾計画の予算が成立。国の事業として動き出すことになる。昭和十一年には、矢吹ヶ原開墾事業所、昭和十六年には農林省矢吹原開墾事務所が設置される。

昭和十六年には、事業の肝となる羽鳥ダムの造成が開始され本格的な計画始動となつた。しかし、ここでも計画は時代に翻弄されることになる。日本は太平洋戦争に突入し、戦局は悪化の一途をたどる。戦中も工事は続行されていて、資金および資材不足などにより進行は停滞してしまつた。

昭和十九年に御料地が県へ移管されると、開拓民の農業技術取得のため、県立修練農場が開設される。この修練農場が現在の福島県立農業短期大学校の前身にあたる。今も昔も県の基幹産業である農業の担い手を育成し続けている施設なのだ。

しかし、太平洋戦争中は悲しい歴史も併せ持つ。食料増産の国策の下で、満州開拓訓練所を併設し、1200人程を中国大陸に送り出し、その満州開拓団の伴侶として女子短期拓殖訓練も行われた。

現在では「農短」と町民に親しまれ、農産物を始めとした畜産や園芸など、さまざまな農業分野の学び舎として現在に至る。生徒達は52.1ヘクタールという広大な敷地の中、寮生活を行い、直売実習や学園祭には新鮮な農産物を求め大勢の住民が訪れる。

矢吹町弥栄地区は、修練農場の第一期生が入植した地域。弥栄の地名は五穀豊穣・子孫繁栄の意味が込められている。当時は水があり必要な大豆や馬鈴薯の栽培で、冬場は出稼ぎに出ざるをえない苦しい生活を余儀なくされた土地は、現在その願い通りに美しい田園が広がっている。

開拓精神は若い農業人へ



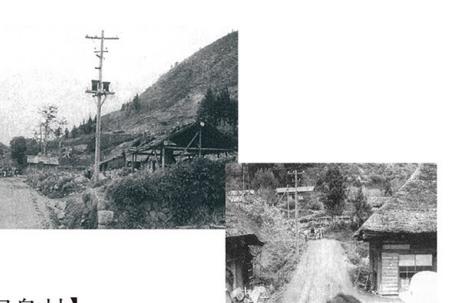
昭和九年に御料地が県へ移管されると、

【福島県農業総合センター農業短期大学校】
校内には、北海道を思わせる広大な敷地に、田畠やビニールハウスの他に牛舎や豚舎、教習所などがトラクター運転練習などがある。

小野 徳章さん
(福島市出身)
県内で農業やるならここで学ぶのが一番と思い入学しました。さくらんぼや桃などを育てる実家を継ぎ、安定した経営ができるようしっかり学びたいです。

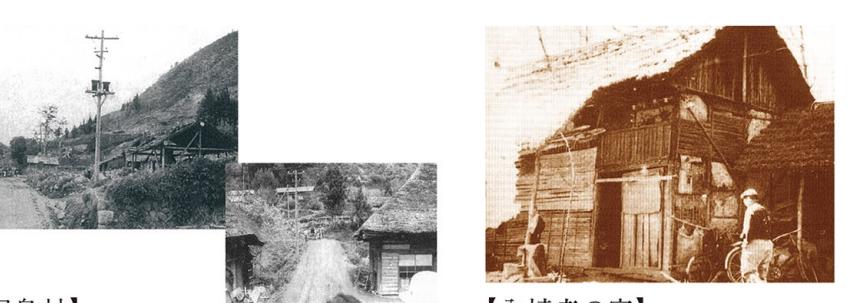
間船 栄崇さん
(会津美里町出身)
この学校で学ぶ農業の知識や多くの人脈を活かし、将来実家を継ぎたいと思います。そして目標である農業法人化、新しい就農者を増やし、地域に貢献していきたいです。

小針 啓孝さん
(浅川町出身)
地元には若い農家がいません。だからこそ自分が先頭に立ち、若いチカラで引っ張っていかない。この学校で技術を身につけ、将来のために活かしたいです。



【ダムの工事風景】

台形状に盛り土をして堰堤を形成するアースダムで、灌漑用ダムでは日本屈指の規模を誇る。



【羽鳥村】

羽鳥ダムの湖底に沈んだ羽鳥村は、器などをを作る木地職人が多く住む村だった。その住人の一部は矢吹に移住し、開墾に汗を流した。



【矢吹町の田園】

羽鳥ダム・羽鳥疏水の通水が開始されると面の荒野だった矢吹原台地に1500ヘクタールの田が開かれ、現在の矢吹の景観を成している。

そして戦後。食糧難は深刻化し耕地の拡大は、待ったなしの国家的急務となつた。凍結状態だった羽鳥ダム建設は、昭和二十五年に再び国の事業として再始動し、六年の歳月を経て昭和三十年に羽鳥ダムの開通式、羽鳥疏水の基幹工事が完成する。最大の懸念だった農業用水の確保は解消されたが、広大な荒地を開拓することは並大抵のことではなかつた。当時は工作機械もなく、ひたすら鍬をふるい木々の根を取り除く作業が続いたという。ようやく開いた畑に種をまいても、赤土の瘦せた土地で作物は上手く育たなかつた。食料は配給されたが、量が乏しく空腹と栄養失調の中、開墾事業は続けられた。

【矢吹飛行場】

希望と悲劇を物語る「矢吹飛行場」

矢吹町文化センターと町役場の間に広大な駐車場がある。一見不釣り合な大きさには、歴史の痕跡がある。そこにはかつて福島県初の飛行場が存在したのだ。

昭和三年に新聞社の企画によって、矢吹ヶ原に飛行機が飛来。当時は飛行場といつても住民は志が荒地の草刈り整地した程度だなどうぞの寄付によつて陸軍に献納された「愛國福島号」また昭和九年には同じく県民が海軍に献納した「報國福島号」が披露のため飛来した。

昭和十二年にはその平坦な立地から、陸軍の飛行場として矢吹飛行場が開場する。戦況が活発になると陸軍飛行学校の出張所が置かれ、東西1500m南北600mの滑走路、格納庫、兵舎が建設された。戦況が悪化の途をたどる中、学生勤員令で召集された隊員の操縦訓練基地となり、訓練を終えた若者たちの中には特攻隊に編成され沖縄の海に散った隊員もいる。

本土空襲は激しさを増し、終戦を迎える間を切つた昭和二十年八月九～十日の空襲により矢吹飛行場は破壊され、飛行場としての機能を失つた。希望のシンボルとして出来た飛行場は、悲しい歴史を背負いながら、静かにその役割を終えることになる。

【爱国号】

爱国福島号が矢吹ヶ原に着陸（昭和7年9月18日）飛行機を一目みようと、近隣から5万人もの見物人が集まつた。



気候と開拓スピリットが育んだ 矢吹の野菜

矢吹町は福島県南部にある
町。東北と関東の境に位置して
いるため、東北の冷涼な気候と
関東の温暖な気候との寒暖の
差が、農作物に濃厚な旨味を
もたらしている。

また栃木県との県境の那須

岳、福島県沿岸部（浜通り）と

の境にある阿武隈山地から吹

き降ろす風により、温暖な地域

の野菜から、高地の野菜まで幅

広い農作物の栽培を可能にして

いる。また畜産農家も多いこと

から畜産作物の栽培も行われ、

大震災によりパイプラインが破

壊され、水を引き込み豊かな農地

を作り上げた「開拓スピリット」。

高糖度トマトを作り出すため長

年地道に積み重ねられた研究

や最新設備を取り入れた水耕

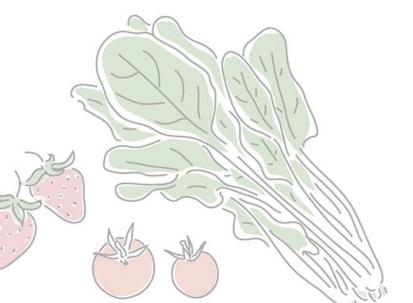
栽培など、実直な野菜作りへの

姿勢と、いいものは柔軟に取り

入れるオープンマインドが、今

生産者にも受け継がれ品質を

支えている。



【矢吹の米】



町内の若手農業集団「ぐるぐるノーカーズ」と、
東京農業大学の昆虫機能開発研究室がタッグを組んで、カブトエビを田んぼに放ち、無農薬栽培での環境配慮型の農業にチャレンジしている。

収穫した米は、東農大の学食で提供されたり、
厚木キャンパスで行われた「おいしい矢吹」野菜PRイベントで配布された。田植えや稻刈りなどの作業は矢吹町の小学生も参加し、首都圏との交流に一役買っている。

人智で切り開いた 町の繋がり

～日本三大開拓地の交流～

先人たちの想いを未来へ

戦後の国営開拓で、街が発展した地域は矢吹だけではない。旧農林省の「戦後開拓史」によれば「数ある

戦後の国営開拓事業の中でも特に規模が大きく、旧

軍用地の解放などの共通点を持ち合わせた中で様々

な技術的困難を克服し、成功を収めた地域」として

青森県十和田市、宮崎県川南町を挙げている。

平成九年には、その三市町が「日本三大開拓地」として、開拓に汗を流してきた先人たちの功績を後世に伝えようと交流が開始される。平成十四年には、矢吹町で日本三大開拓地サミットが開催され、共同宣言により子ども達の相互交流が始まり、継続して現在も行われている。

東日本大震災では、被害を受けた矢吹町へ十和田市や川南町から震災直後から飲料水など多くの支援を受け、平成二十二年の宮崎県の口蹄病問題の時は、川南町へ義援金を送るなど、開拓事業で切り開かれた3つの町は、兄弟のようにお互いを助け合いながら、結びつきを深めている。



◎川南町（宮崎県）



青森県東南、青森市と秋田県鹿角市に隣接する町。真夏でも20℃程度の冷涼な気候の中、水稻、野菜、果物などを組み合わせた複合経営の農家が多く、特に二ヶ所は生産量日本一を誇る。江戸時代末期から新渡戸稲造の祖父・新渡戸傳が引水事業を始め、現在の農業の礎を築いた。



◎十和田市（青森県）



宮崎市と延岡市を結ぶ海岸線のほぼ中央にある温暖な気候に恵まれた米野菜、花、畜産などが盛んな農業地帯の町。戦後の大规模開拓地として、全国四十七都道府県から農業を志す人々が集まり拓かれたことから、「川南合衆国」とも呼ばれている。



開拓の歴史 「羽鳥疏水」を巡る

「田園の源を気軽に散歩」

ここまで羽鳥疏水の歴史を振り返り、現在はどうなっているのか気になるところ。そこで疏水を管理している矢吹原土地改良区のご好意で、疏水に点在する矢吹の歴史と現在が繋がっていて、おもしろいなあ。

各施設が美しい田園を作成する重要な役割を果たしていることが疏水の流れに沿って理解でき、一味違った矢吹散策が味わえること間違いなし!

綺麗に整備された三十三観音の散策コースの入口にも疏水の重要な施設があるんですね。矢吹の歴史と現在が繋がっていて、おもしろいなあ。

須賀川市
SUKAGAWA



【隈戸揚水機場】05

日和田頭首工の川下にあり、ここでも隈戸川の水を取水する。12分30秒で25mポールが満杯になるほどの強力なポンプを使用し、30m以上高低差のある貯水タンクに送水。広範囲に行き渡らせる。

駅から歩きやすい場所だし、矢吹散策にとってもいい散歩道になりそう。道の下に、矢吹の風景を支える水が流れているんですね!

羽鳥疏水の施設は、街や自然の景観に溶け込んでいるだけでなく、生態系や自然環境に配慮して造られています。

【パイプライン】

※地上

矢吹駅東口付近を南北に縦断する砂利道。これも実は疏水の一部。地下には直径1.35~2.6mの用水路のパイプラインが、全長18kmも埋設されている。そのため14t以上の車両は通行禁止の管理用道路として砂利道のままだ。将来的には、町のコミュニティ道路としての整備が計画されている。



07

※地下

以前は地上を流れる用水路だったが、老朽化に伴い、パイプライン工事が進められた。竣工直前の震災により一部が破損し、その後工事が進められて幹線ラインは復旧している。



【大池西合流工】06

「大池西クレスト」と呼ばれるこの施設は、日和田頭首工から取水した水と、隈戸揚水機場からの水の合流点にある施設。最大40mある疏水の高低差で生まれる水圧を緩やかにする役目を担っている。



白河市
SHIRAKAWA



お話を伺ったのは…

【矢吹原土地改良区】

白河市大信地区、泉崎村、矢吹町、鏡石町、須賀川市の2市2町1村にまたがる広大な地域を潤す羽鳥疏水を整備・管理する福島県有数の土地改良区。現在は、地元小学生への出前授業や社会科見学を通して、羽鳥疏水の歴史や施設を後世に受け継ぐ地域教育にも協力している。

 data
矢吹原土地改良区(水土里ネット矢吹原)
福島県西白河郡矢吹町八幡町409-1
☎0248-42-3121
<http://yabukihara.org>



詳細は
ホームページをご覧ください

坂がないのどかな田園地帯
歴史のある街には昔ながらの商店街があり、
観光スポットやレジャー施設も充実しています。

おいしいグルメを探したり、
ここでしか出会えない人と触れ合ったり、
おもしろい発見がいっぱいの矢吹町へ行こう！

ノスタルジックで新しい。
ここでしか出会えない人と触れ合ったり、
おもしろい発見がいっぱいの矢吹町へ行こう！

ACCESS

東北新幹線が停車する郡山駅から
東北本線で約20分、新白河駅から約15分
東北自動車道矢吹インターからも、
街なかへのアクセスが便利です。



Taxi : タクシー

矢吹タクシー
福島県西白河郡矢吹町中町246
TEL 0248-42-4133

太陽タクシー
福島県西白河郡矢吹町曙町89
TEL 0248-41-1577

鏡石タクシー矢吹連絡所
福島県西白河郡矢吹町中丸330
TEL 0248-45-2580

Rental Car : レンタカー

(株)TMR矢吹営業所
福島県西白河郡矢吹町赤沢855
TEL 0248-21-6090

Train : JR東日本

矢吹駅
福島県西白河郡矢吹町中町235-4
TEL 0248-42-2211

やぶき観光案内所



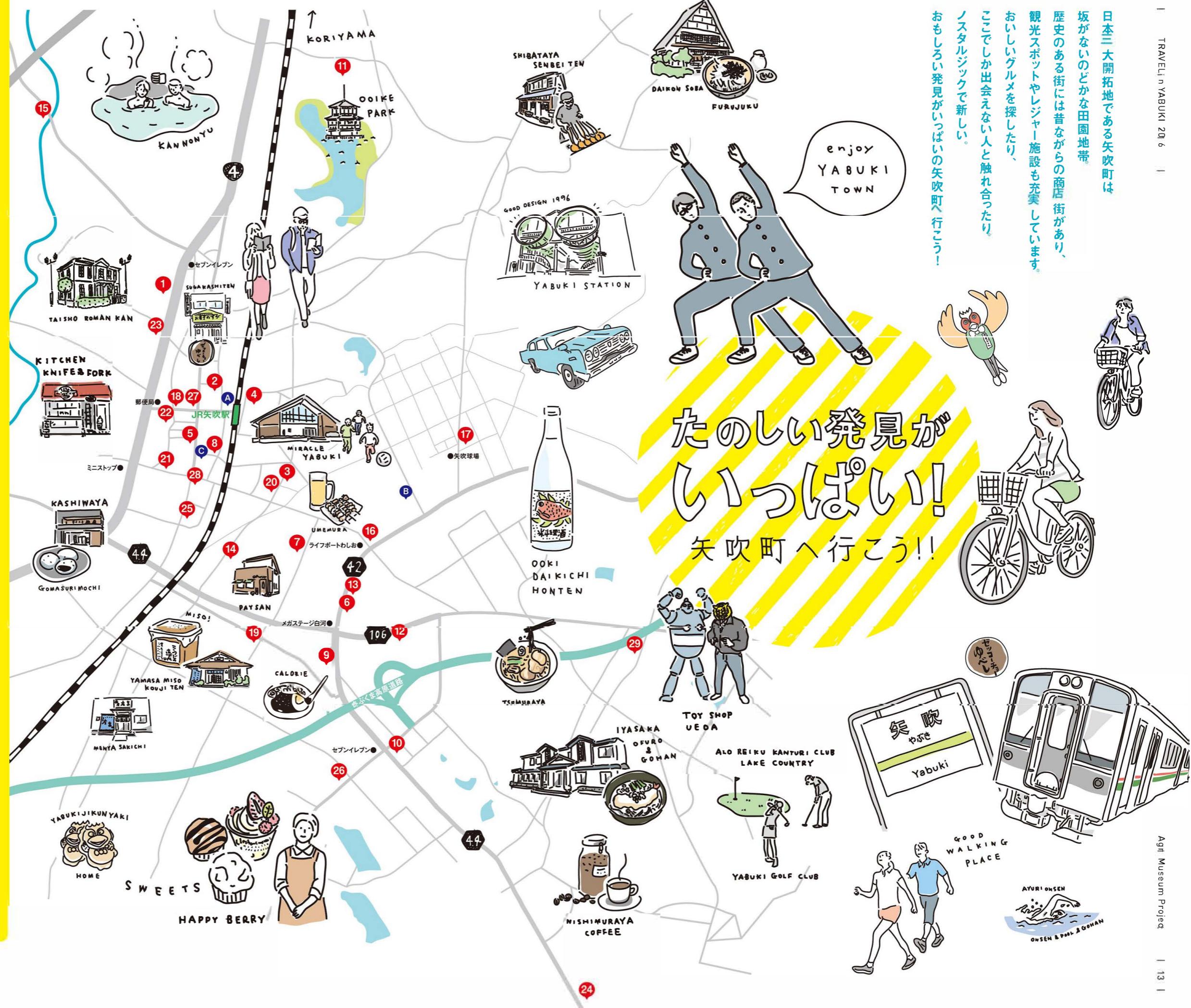
矢吹町役場



福島県西白河郡矢吹町一本木101
TEL 0248-42-2111 (8:30~17:15)

詳しくはfacebookから!! [facebook](#) 開拓の町 矢吹

検索



矢吹町へ行こう!!

家族で日帰り旅行♪



子どもも大人も、
おもいっきりあそぼう！



01
未来くるやぶき

矢吹駅から徒歩1分。子どもたちが体を使ってたっぷりあそべる屋内外運動場。屋内のたのしい遊具で遊んだり、フットサルコートでサッカーもできます。子どもだけじゃなく、大人も思いっきり遊べる施設です。



MAP.4



一緒に
おもいっきり
遊んじゃおう！



MAP.5



はしってはしって
トランポリ！
楽しいよ～！



ペイザン

おいしいピラフや
ハンバーグを
ワンプレートで。



人気NO1は
「ペイザンピラフ」の
ワンプレートランチ



MAP.6

おしゃれな店内。
お子様椅子もあるから、
小さな子ども連れでも
安心



福島県西白河郡矢吹町八幡町534-4
0248-44-2936 ①11:00~21:00(ラストオーダー20:30)
定休日:毎週月曜日(祝日の場合翌日休み)



05
矢吹名物
「やぶきじくん焼き」を
おやつに。



この二箇所で
買えるよ!

あゆり温泉／福島県西
白河郡矢吹町八幡町442
0248-42-2615 ①9:00
~21:00 定休日:第4火曜
日・年末年始

矢吹宿 宝夢／福島県
西白河郡矢吹町中町290
0248-21-7555 ①
10:00~22:00 定休日:毎
週月曜日



ホクホク、あま〜い！
感動の焼きいもを発見！

04
勢州屋商店

店内には、子どもが大好きな駄菓子やお
もちゃがずらり！おすすめは、石焼き芋トロ
トロとホクホク、2種類の焼きいもは、2時
間かけてじっくり焼いて、甘みがぎゅっ
と詰まっています。ぜひ食べてみて！

福島県西白河郡矢吹町八幡町255-3
0248-42-2266 ①7:00~19:00
定休日:毎月、2日・12日・22日



ボリューム満点の
食事と温泉で
ゆったり。

楽しかったね!
また矢吹に
来ようね。

いやさか

名物
「いやさか天ぶらうどん」。
大きな薄老がどん！

MAP.10



お座敷で
家族みんなで
食べるごはんは
おいしいね☆

ちょっと熱めの温泉は、
開放感たっぷりの
露天風呂が最高です

たっぷり遊んだ一日の最後は、「いやさか」
で晩ごはん。定食や麺類、鍋類などメ
ニューが豊富で、お子様メニューもありま
す。食事の後は、源泉かけ流しの温泉へ。
とりとした泉質で気持ち良いですよ～。

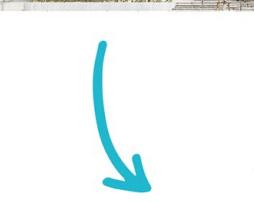
福島県西白河郡矢吹町文京町197-1
0248-44-3233 ①11:00~21:00
(ラストオーダー20:00) 定休日:毎週水曜日



02
トイショップ ウエダ

昔からある街のおもちゃ屋さん。一步足を
踏み入れれば、昭和にタイムスリップした
ような雰囲気に、時間を忘れて夢中になり
そう!タイガーマスクやプラモデル車など、
ここにしかないレアものを探してみてね!

MAP.5



凧糸とばかりに、
埋め尽くされている店内



たくさんの
ミニカーや
プラモデルに、
パパも子ども
大興奮!



一緒に
おもいっきり
遊んじゃおう！



はしってはしって
トランポリ！
楽しいよ～！

\ Family in Yabuki /

\ Family in Yabuki /

矢吹町へ行こう!!

友達とキャンプでお泊まり~

キャンプの食材を
現地で調達!

みりょく満点物語

矢吹町や近郊市町村の旬の野菜やくだもののがいっぱい。お肉や加工品、調味料も揃っています。さらに、矢吹自慢の米も!新鮮で味も良い地元産の農産物があれば、おいしいバーベキューがされること間違いなし!

Friend in Yabuki /



大池公園キャンプ場

大池公園のキャンプ場は、無料でバーベキュー・キャンプができます(3~11月頃まで)。周りは木々に囲まれていて、とっても気持ちが良い場所です。大池の周りを歩いたり、草原の広場でスポーツしたり、楽しみ方いろいろ!キャンプ場には炊事場があって、近くに駐車場も完備。初心者でも安心して利用できますよ。

矢吹町シルバー人材センター
0248-44-5211 ※利用の際は、事前にご連絡ください。



自然豊かな「大池公園」は、無料でキャンプができる穴場スポット。
矢吹町のお店で材料を調達して、友達と一緒にキャンプを楽しもう!

Friend in Yabuki /

ことことキッチン

お惣菜やお弁当を手作りしている店。お惣菜はサラダなどのさっぱり系から、自慢の唐揚げやエビチリまで、和・洋・中とバリエーション豊か。量り売りしているので、好きなもの食べたいだけ買えますよ。

MAP-14

やまさ味噌 八幡店

味噌を作るなら、やまさ味噌がおすすめ!国産の大豆と米、五島灘の塩を使って天然醸造。無添加・無着色・保存料不使用で体に良い味噌づくりにこだわっています。

福島県西白河郡矢吹町八幡町214
0248-42-2820 ⑨:00~19:30
(日曜・祝日9:00~14:00) 定休日:第3曜日

MAP-13

焼きマシュマロ、うまい!

お肉もおいしい~

翌日は朝から天気持ち良いよね~!
露天温泉でぽつかばか。

MAP-15

矢吹町の夜は、星空がきれいで、星空案内人 鈴木 複一さん(矢吹町在住)

開拓地である矢吹町は、山はもちろん坂もなく平原な土地ですので、どの場所からもきれいな星空を眺めることができます。特にキャンプ場は、近くに大きな建物や明るすぎる照明がないので、本当にきれいに見えますよ!天気が良ければ、たくさんの星座を見つけることができます。芝生に寝ころんで夜空を眺めてみてはいかがですか?



もうちょっとおつまみがほしい時に、お惣菜はいかが?



昔ながらの手作り味噌でつくる「豚汁」も最高です!

「こうじの恵み」は福島県ブランド認証商品!



キャンプ場から車で約10分の近場にある割烹温泉。入浴だけの利用もOK!朝風呂に入ってる間に、ゆっくりと天然温泉100%かけ流しの湯を満喫しうるなかなか泉質で、お肌もつるつるに!露天風呂も最高ですよ!

福島県西白河郡矢吹町南町182-7
0248-42-2418 ⑨:00~22:00 定休日:不定休

Friend in Yabuki /

MAP-2

飲み口のいい日本酒で、バーベキューはさらにおいしく。

今からそんなに飲んで大丈夫?

独自の製造法で作ったお酒です。ぜひ一度お試しください。

MAP-12

直売所の野菜ってやっぱり新鮮だよね!

大木代吉本店

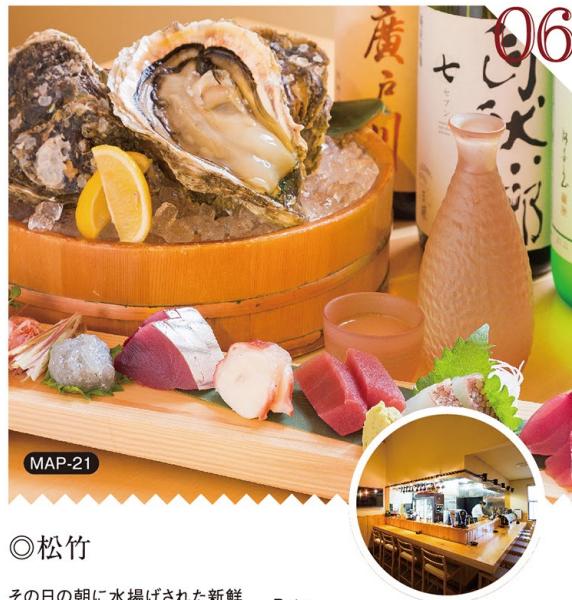
キャンプはお酒も大事!!矢吹町唯一の大木代吉本店のお酒は、全国的に有名なお酒がズラリ。プロの料理人が絶賛する料理酒や塩麹も扱っているので、料理にこだわりたい人はそちらもチェック!

福島県西白河郡矢吹町八幡町9
0248-42-3161 ⑨:00~17:30
定休日:火曜日



みりょく満点物語

矢吹町や近郊市町村の旬の野菜やくだもののがいっぱい。お肉や加工品、調味料も揃っています。さらに、矢吹自慢の米も!新鮮で味も良い地元産の農産物があれば、おいしいバーベキューがされること間違いなし!



◎松竹

その日の朝に水揚げされた新鮮な魚介を使った、旬の魚料理が味わえる店。メニューが豊富で、日本酒の銘柄も多い。一人客からファミリーまで客層が幅広い。木の温もり感じる店内は、ジャズが流れ大人の雰囲気が漂う。



Date
問合せ / 0248・42・3445
住 所 / 福島県西白河郡矢吹町中町166
時 間 / 火～土○17:00～24:00
日○16:00～24:00
定休日 / 月曜日



◎白河手打ち中華そば つむら家

いまの家分店（いわき市内郷）で修行した「中華そば」は、地鶏を使ったスープと手打ちの自家製麺を使った、こだわりの一一杯。「支那そば」や「トマトラーメン」など、いろんなラーメンが味わえるのも人気の秘密！



Date
問合せ / 0248・42・3855
住 所 / 福島県西白河郡矢吹町曙町78
時 間 / 11:00～17:00
定休日 / 月曜日
※中休みなし。材料がなくなり次第終了。



◎西川屋

名物は「白いタンメン」と「赤いみそラーメン」。地元民の間では、白派と赤派で意見が分かれるといふほど、この店の人気を二分している。チャーハンやカレー、定食類も充実。アットホームな雰囲気で立ち寄りやすい。



Date
問合せ / 0248・44・5421
住 所 / 福島県西白河郡矢吹町一本木158-3
時 間 / 11:00～14:00
定休日 / 月曜日



◎キッチンカロリー

矢吹で50年もの間、人々に愛されている洋食屋さん。人気NO.1の「ダブルスカロップ」は、初代コックが若い頃に出会った中南米料理を日本人向けにアレンジしたオリジナルの一品。ランチや定食など、メニューも豊富。



Date
問合せ / 0248・42・3463
住 所 / 福島県西白河郡矢吹町一本木43-11
時 間 / 昼の部○11:00～14:00
夜の部○16:30～19:30
定休日 / 土曜日

矢吹は小さい街だけど、飲食店のレベルが高い!
おいしい矢吹グルメに、あなたもきっと感動するはずです。

矢吹のおいしい グルメスポットをご紹介!



◎プリモピアット

本格的なイタリアンが気軽に楽しめる。ランチのおすすめは3種類からメインが選べる「パスタランチ」。グラタンやサラダ付きでお得。パリパリとした食感のピザやハンバーグ、肉魚料理をおしゃれな雰囲気で味わって。



Date
問合せ / 0248・42・3300
住 所 / 福島県西白河郡矢吹町館沢144
時 間 / 10:00～22:00
定休日 / 火曜日

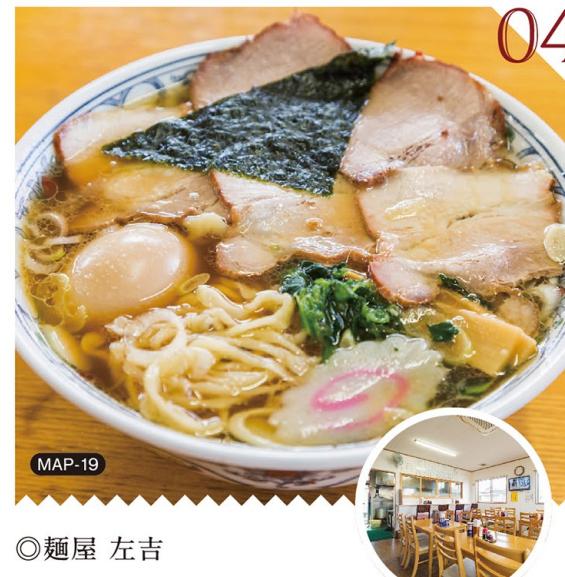


◎梅むら

つい長居してしまう居心地の良い和風居酒屋。リーズナブルな価格で気軽に料理やお酒が楽しめる。人気は本格炭火焼き鳥。特製にんにく味噌をつけながら食べる塩焼きは絶品! モツ煮やおでんなどお酒がすむ料理が揃う。



Date
問合せ / 0248・42・4888
住 所 / 福島県西白河郡矢吹町中町7
時 間 / 17:00～22:30
定休日 / 日曜日



◎麺屋 左吉

豚ガラ・鶏ガラをベースとした醤油味の白河ラーメンが人気の店。最大の特徴は、太ちぢれ麺の弾むような歯ごたえ。看板メニューは、チャーシュー・ワンタン・煮玉子が豪華にトッピングされた「左吉ラーメン」。



Date
問合せ / 0248・44・5288
住 所 / 福島県西白河郡矢吹町八幡町139-7
時 間 / 平日○11:00～14:30/ 17:00～20:00
日・祝日○11:00～20:00
定休日 / 月曜日午後
※日・祝日は、材料がなくなり次第終了。



◎ナイフとフォーク

ハンバーグがおいしい街の洋食屋の定番は、味噌ラーメン! ハンバーグや焼肉丼、カツ丼やカツカレーにラーメンを組み合わせたセットメニューが充実している。ボリューム満点でリーズナブル。男性やファミリーから女子高生にも人気。



Date
問合せ / 0248・42・2906
住 所 / 福島県西白河郡矢吹町本町157
時 間 / 11:30～20:00
定休日 / 水曜日

開拓の町、矢吹へ ぜひお越しください!

農産物や移住の町の
PRもこれから。
フロンティア精神で、
積極的に情報発信
していきます!

矢吹町長
野崎 吉郎



町に必要なのは
人材とその絆。
絶好調な笑顔で、
矢吹フロンティアーズを
盛り上げていきます!

矢吹町名譽町民
中畠 清 監督

矢吹フロンティアーズ、始動。 町民一人ひとりが“プレーヤー”として、矢吹町をPRしていきます!!

矢吹フロンティアーズとは、野球チームをモチーフに、町民がプレーヤーとなり、矢吹町の農産物・特産物・観光・移住者支援などをPRしていく活動です。名譽町民の中畠清さんは矢吹フロンティアーズの監督(PR大使)を務めていただくことになり、今後さまざまな活動を行っていきます。合言葉は「フロンティア絶好調!」



柏屋の「ごますり餅」

もっちりとした大粒餅の中に、ほんのり甘い黒ごま餡がクセになる一品。子どもも年配の方も一度食べたら誰もが恋しくなる味。

店舗 福島県西白河郡矢吹町中町405 ☎ 0248-42-2425 ①8:00～19:00 定休日:元旦のほか

MAP-25



西村屋珈琲店の
「自家焙煎珈琲豆」

指定生産農場の高品質豆をマスターが100%ハンドピックして丁寧に自家焙煎。新鮮で香り高い珈琲豆は、素敵な旅の思い出に。

店舗 福島県西白河郡矢吹町中町185-55 ☎ 0248-43-2880 ①10:00～19:00 定休日:毎週火曜日・第3日曜日

MAP-24



柴田屋せんべい店の
「手焼き煎餅」

国内産の米と小麦粉を使って、職人が一枚一枚丹精込めて焼き上げています。「瓦煎餅」「巻煎餅」「しそ巻」などオリジナルも豊富。

店舗 福島県西白河郡矢吹町中町355 ☎ 0248-42-2658 ①8:00～19:00 定休日:不定休

MAP-28

YABUKI MIYAGE



USUBA FARMの「いちご」

矢吹の風土と気候に合わせて栽培される、真っ赤に熟したこだわりのいちご。ふくよかな甘みと香りに感動。期間は12月～5月まで。

店舗 福島県西白河郡矢吹町寺内660 ☎ 0248-43-2453 ※事前予約がおすすめ ①9:00～17:00

MAP-29



Happy Berryの
「ハッピーロール」

素材ひとつひとつにこだわったロールケーキ。ふわふわでミルキーな味わいが大人気!キャラメルや季節限定ロールもおすすめ。

店舗 福島県西白河郡矢吹町弥栄63-2 ☎ 0248-44-5538 ①9:30～18:00 定休日:毎週火曜日、第2水曜日

MAP-26



ゼッコーチョーゆべし

中畠さんのおふるさとにちなんだ「ゼッコーチョーゆべし」。おいしく食べて祈願成就・景気回復!

店舗 須賀菓子店◎福島県西白河郡矢吹町本町150-3 ☎ 0248-42-2639 ①8:00～19:00 定休日:不定休

MAP-27

やぶきじくんグッズ

矢吹町の当地キャラ「やぶきじくん」は、グッズはも大人気!ぬいぐるみやワッペン、ノック式消しゴムなど充実の品揃えです。

店舗 トイショップ ウエダ/福島県西白河郡矢吹町中町191 ☎ 0248-42-3306 ①9:30～19:00 定休日:第2月曜日・矢吹駅構内ショップにもあります。



MAP-5



自慢の
逸品を
ご紹介

矢吹に来たら、
買ってがし。



日本三大開拓地と呼ばれる成功を収めた矢吹町には、

今でもフロンティアスピリットが広く息づいています。

自分の試したいこと、やりたいこと、成し遂げたいことがあったら

その夢や野望を矢吹町で開拓してみませんか。

若くて元気なフロンティア達の未来を、矢吹町は応援します。

開拓の町
矢吹
YABUKI MACHI

矢吹町アグリミュージアム
プロジェクトムービー完成!!

